

<b>学校教育目標</b>	向上心を持ち、友情をはぐくみ、明るく、生きる力あふれる南中生 = 学習、行事、部活動を重視して生徒を育てます= ○ 人の話を聞く姿勢と、確かな学力を伸ばします。 .....(知) ○ 元気にあいさつし、自分と仲間の命や人格を尊重する豊かな心を育てます。 .....(徳) ○ 心と体を大切に、健康な生活を心がける学習を進めます。 .....(体) ○ まちとかかわり、社会の一員となるために、自分のできることを考え行動する力を育てます。 .....(公) ○ それぞれの国の伝統や文化を尊重し、国際社会に向けて開かれた心を育てます。 .....(開)				
	創立 72 周年 児童生徒数: 570 人	学校長 高木 俊彦 主な関係校: 井土ヶ谷小学校・大岡小学校・(六つ川小学校)	副校長 今井 雅彦	3 学期制	一般学級: 15 個別支援学級: 4

教育課程全体で育成を目指す資質・能力	南中ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
・豊かな語彙、見聞き・伝えられる力、主体的に考える力(知) ・礼儀、人権意識、自己肯定感、他者意識、自立心、豊かな感性(徳) ・心身ともにたくましく生きる力、諦めない心、基本的な生活習慣(体) ・共生・協働・協調する力、奉仕の心、コミュニケーション能力(公) ・自己と自国のルーツを尊重する気持ち、多様性を受容できる心(開)	南中学校 井土ヶ谷小学校 大岡小学校	「自主性」「自己肯定感」「コミュニケーション力」 ・率先して自ら考え、行動する子ども ・自分の価値や存在意義を前向きに受け止める子ども ・相手の気持ちを尊重して、自分の感情や意思を相手に伝える子ども ・ブロック授業研究を行うと共に、「主体的・対話的で深い学び(アクティブラーニングの視点)からの学習意欲を高める授業」をテーマに教科研を進める。(年2回実施) ・中学校において、部活動体験を行うことにより、中1ギャップを解消する。(年1回実施) ・子ども像を共有しながら児童生徒指導や特別支援教育の情報交換を行う。

<b>中期取組目標</b>	1 あかるく、仲よく、たのしい、あ・な・たの学校、わかり合い、たすけ合い、信じ合える、わ・た・しの学校づくり ・互いを認め合い、助け合うことのできる人権尊重の教育を推進し、温もりのある指導を実現することにより、自分を大切に、他人を認めることのできる生徒を育成します。 2 個に応じた学習指導を行い、基礎基本の定着による確かな学力を伸ばすことにより、生きる力を育てます。 3 「主体的・対話的で深い学び」の考えを導入し、子どもたちの意欲関心を高め主体的に学習に取り組む姿勢を育成します。
---------------	---

重点取組分野	具体的取組
<b>確かな学力</b> 担当 学習指導部	①一人ひとりの生徒の基礎的基本的な学力を定着させるために、指導方法の工夫や個に応じた指導及び家庭学習の習慣付けなどを行う。②生徒が自らの考えを発表したり、相手の考えを聞いたりして、より主体的に学習に取り組めるように、「主体的・対話的で深い学び」の考え方を取り入れた授業展開を研究していく。
<b>豊かな心</b> 担当 道徳・人権・国際理解委員会	①行事を通して生徒一人ひとりが成長を感じられる指導や評価を大切にする。 ②人とのかかわりをもつことで自分の存在を肯定的にとらえ、楽しさを感じ、自らの働きかけで人の役に立った、人に喜んでもらえたなど相手の存在によって得られる「自己有用感」がもてる指導に努める。
<b>健やかな体</b> 担当 保健体育科、保健安全指導部	①体力向上に向け、一校一実践運動を通し、生徒一人ひとりが課題に取り組む態度を育てる。②基本的な生活習慣の定着と健康・安全についての理解を深めるために健康教育の充実を図る。
<b>児童生徒理解</b> 担当 生徒指導部、特活指導部	①年3回の教育相談日を設けたり、日頃から声かけを行ったりするなど、生徒一人ひとりに寄り添った生徒指導に組織的に取り組む。 ②生徒指導会を複数回実施し、一人ひとりの生徒について情報を共有し組織的な対応を行う。
<b>地域連携</b> 担当 生徒指導専任、主幹・学年主任会	①地域行事や地域防災への参加、ボランティア活動、職場体験、福祉施設との交流を通じて、地域と相互に係わり合う中で、生徒の健全育成を目指す。②地域連携について、部活動や委員会活動がより効果的な取り組みができるように検討、実践する。
<b>キャリア教育</b> 担当 総合的な学習委員会	①身近な人たちとの関わりを通して自己を見つめ、その中で自分の生き方を考える。②職業調べ、職業講話、職場体験を通して自分自身の適性を知り、自己理解を深める。さらに、進路選択について、自分自身の適性を知り、さらに自己理解を深め、具体的な進路に結び付ける。
<b>いじめへの対応</b> 担当 いじめ防止委員会、生徒指導部	①いじめ防止研修を行い、全教職員のいじめに対する感度を高くするとともに、生徒指導部と連携した教育相談や生活アンケートにより細かな変化を見逃さない体制をつくる。②いじめ防止対策委員会を開催し、認知された案件の経過確認をていねいに行うことで再発防止に努める。
<b>人材育成・組織運営(働き方改革)</b> 担当 主幹・学年主任会	①校内授業研修やメンターチームなどの研修会を充実させる。キャリアステージに応じた各種研修会を積極的に活用し指導力や資質の向上を目指す。 ②組織の活性化、効率化を目指し、主幹教諭や各主任等のモデルリーダーの指導力を有効活用するため、主幹・学年主任会等でより良い学校運営に向けて検討していく。また、職員の負担軽減についても検討していく。